

MAIL MAGAZINE

メールマガジン

2021年もよろしくお願ひします！

JSC 貿易部ニュース 中国編



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。

2021年も、より一層お引き立てを賜りますよう切にお願い申し上げます。

皆様、はじめまして。

わたくし昨年の4月に入社しました新人貿易部員の「蒲田（かまた）」と申します。今号のメルマガは「蒲田」が担当させていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

わたくし前職はアパレル会社に勤めており、6～7年ほどではありますが、中国の北京市に駐在しておりました。

本日は、駐在時に撮影した北京の街並みや料理の写真を交えながら自己紹介をさせていただきます。

私が住んでいた北京市、冬の気温は寒い時でマイナス15℃くらいまで下がり、外を歩いていると耳がちぎれそうな感覚になります((+_+))

そんな寒い北京の夜には暖かい鍋をつつきたくなるもので…



北京の六本木ヒルズとも言われている「建外SOHO」という商業施設へ行くと♪

こちらに、私の大好物の激辛火鍋店があります。これがその「麻辣（マールー）火鍋（フォグオ）」。



麻辣（マールー）とは「痺れる」（山椒で舌が痺れるような）という意味です。

日本でも「薬膳鍋」という呼び名で、ひそかにブームになりつつあります。

最近では日本でも本格的な火鍋を楽しめるところが増えてきていますので、機会があれば是非お試し下さい。おいしいですよ♪

さて、私が入社して以降、新型コロナウイルスの影響で海外渡航に制限が加わり、中国に関しても、いまだ自由に行き来ができる状態ではありません。本来であれば中国の提携工場にどっぷり身を置き勉強しなければならない立場ではありますが、そういう訳にもいかず、デスクワークと庵治産地での石と加工の勉強という日々が続いております。

そんな中、中国への日本産原石の販売業務の一環として、先日、岡山県の某港まで原石の検品・検尺に行っていました。今回原石の検品と検尺のやり方を指導いただくのはS先輩。

港に到着すると、今回検品する予定の大島石と天山石の原石がずらりと並んでいます。



大量の原石の列、間近で見るとなかなかの迫力です。

まずは高圧洗浄機で原石の汚れや泥などを洗い流し、「キズ」や「サビ」などが無いか、入念にチェックしていきます。



そして、検品が終われば次は検尺です。S先輩より検尺方法を教わり、検尺開始です。



まずは私が検尺し、S先輩が再度検尺して答え合わせをする感じですが、ほぼほぼ「答え」を外しながら作業は進んでいきます。(´;ω;`)

午前中から開始して、日暮れ頃に作業終了。

実際に原石に触れて、大変いい勉強になった1日でした。

以上、貿易部新人蒲田の教育研修日誌ならぬメルマガデビューではありますが、しっかり勉強して一日も早く一人前の貿易部員となって、お客様のお役に立てるよう頑張ってお参りますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

さて、話は大きく変わりました、先月号でもお伝え致しました「海上運賃高騰のニュース」の続報です。先月の12月12日積み、19日積みの厦門港～日本の各港間のコンテナ運賃が大幅アップとなり、かつてない高値を記録しました。残念ながら、12月26日積みも引き続き高値圏。今もって記録的な価格で推移しております。

2021年、今年もこのまま海上運賃の高値が続くのか、それとも少し落ち着いていくのか、関係者の間でも見方は様々で、現時点では正確な見通しは立っておりません。

これまでコンテナのリース会社は、新型コロナウイルス感染症拡大による海上貨物の急減からコンテナの売却や廃棄を進めてきましたが、中国の回復とともに物量が急回復。世界的なコンテナ不足に陥りました。

また、船会社が儲けの取れる長距離航路（北米や中東向け）のサービスを強化している影響で、中国発の日本向けを含む短距離航路のコンテナ確保や船のブッキングが難しくなっています。船舶もコンテナスペースも大幅に減っているところにオーダーが集中して価格が大幅に上昇している構図です。



貿易部においても、引き続き取引先各社と交渉を続けている状況ではありますが、運賃上昇分の製品価格への反映は飲まざるをえない状況となってきております。

厳しい時勢の中、お客様にご迷惑をお掛けすることになり誠に心苦しく思いますが、何卒現状をご理解いただき協力を賜ることができればと思う次第です。

それでは本日も最後までお読み頂きありがとうございました。

2021年、今年も貿易部、そしてわたくし「蒲田」もますます頑張ってお参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます！

2021/01/01